

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(多目的ルーム)

JICA 沖縄 所長 佐野景子

1. 基本チェックリスト

- スタッフの就業前の体調確認と報告 スタッフの手指消毒の徹底
- スタッフのマスクの着用 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用願いの周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための利用制限

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方は、原則として入室・資料をお断りする。
- ・利用時間の制限(2時間を上限とする。)
- ・「密」を回避するため、多目的ルームの利用者数を制限する(25人を上限とする)。会議、セミナー・講演、国際交流活動のいずれの場合も同じ。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・1つの机に1名座り、席は対面にならないよう配置を工夫し、隣・前後の間隔を可能な限り2mの距離を取る。

② 飛沫感染対策

- ・利用者はマスクを着用する。
- ・講師等が対面する位置に座る場合、斜めに座るなど、できるだけ2mの距離を取る。
- ・窓は2カ所以上解放、出入り口も空けておく。雨天時や夏場のエアコン使用時などは、1時間ごとに2カ所以上の窓を空け10分程度の換気を徹底する。

(3) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・利用者は、利用時間中は同じ席に座るようにする。また、利用者は身の回りや複数の人が触れる場所は適宜消毒を行う。特に、机、ドアノブ、椅子の背もたれ、肘置き等は注意して消毒を行う。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(セミナールーム 201)

JICA 沖縄 所長 佐野景子

1. 基本チェックリスト

- スタッフの就業前の体調確認と報告 スタッフの手指消毒の徹底
- スタッフのマスクの着用 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用願いの周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための利用制限

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方は、原則として入室・資料をお断りする。
- ・利用時間の制限(2時間を上限とする。)
- ・「密」を回避するため、セミナールーム 201 の利用者数を制限する(16人を上限とする)。
会議、セミナー・講演、国際交流活動のいずれの場合も同じ。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・1つの机に1名座り、席は対面にならないよう配置を工夫し、隣・前後の間隔を可能な限り2mの距離を取る。

② 飛沫感染対策

- ・利用者はマスクを着用する。
- ・講師等が対面する位置に座る場合、斜めに座るなど、できるだけ2mの距離を取る。
- ・窓は2カ所以上解放、出入り口も空けておく。雨天時や夏場のエアコン使用時などは、1時間ごとに2カ所以上の窓を空け10分程度の換気を徹底する。

(3) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・利用者は、利用時間中は同じ席に座るようにする。また、利用者は身の回りや複数の人が触れる場所は適宜消毒を行う。特に、机、ドアノブ、椅子の背もたれ、肘置き等は注意して消毒を行う。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(セミナールーム 208)

JICA 沖縄 所長 佐野景子

1. 基本チェックリスト

- スタッフの就業前の体調確認と報告 スタッフの手指消毒の徹底
- スタッフのマスクの着用 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用願いの周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための利用制限

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方は、原則として入室・資料をお断りする。
- ・利用時間の制限(2時間を上限とする。)
- ・「密」を回避するため、セミナールーム 208 の利用者数を制限する(8人を上限とする)。
会議、セミナー・講演、国際交流活動のいずれの場合も同じ。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・1つの机に1名座り、席は対面にならないよう配置を工夫し、隣・前後の間隔を可能な限り2mの距離を取る。

② 飛沫感染対策

- ・利用者はマスクを着用する。
- ・講師等が対面する位置に座る場合、斜めに座るなど、できるだけ2mの距離を取る。
- ・窓は2カ所以上解放、出入り口も空けておく。雨天時や夏場のエアコン使用時などは、1時間ごとに2カ所以上の窓を空け10分程度の換気を徹底する。

(3) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・利用者は、利用時間中は同じ席に座るようにする。また、利用者は身の回りや複数の人が触れる場所は適宜消毒を行う。特に、机、ドアノブ、椅子の背もたれ、肘置き等は注意して消毒を行う。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(セミナールーム 209)

JICA 沖縄 所長 佐野景子

1. 基本チェックリスト

- スタッフの就業前の体調確認と報告 スタッフの手指消毒の徹底
- スタッフのマスクの着用 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用願いの周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための利用制限

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方は、原則として入室・資料をお断りする。
- ・利用時間の制限(2時間を上限とする。)
- ・「密」を回避するため、セミナールーム 209 の利用者数を制限する(8人を上限とする)。
会議、セミナー・講演、国際交流活動のいずれの場合も同じ。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・1つの机に1名座り、席は対面にならないよう配置を工夫し、隣・前後の間隔を可能な限り2mの距離を取る。

② 飛沫感染対策

- ・利用者はマスクを着用する。
- ・講師等が対面する位置に座る場合、斜めに座るなど、できるだけ2mの距離を取る。
- ・窓は2カ所以上解放、出入り口も空けておく。雨天時や夏場のエアコン使用時などは、1時間ごとに2カ所以上の窓を空け10分程度の換気を徹底する。

(3) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・利用者は、利用時間中は同じ席に座るようにする。また、利用者は身の回りや複数の人が触れる場所は適宜消毒を行う。特に、机、ドアノブ、椅子の背もたれ、肘置き等は注意して消毒を行う。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(セミナールーム 311)

JICA 沖縄 所長 佐野景子

1. 基本チェックリスト

- スタッフの就業前の体調確認と報告 スタッフの手指消毒の徹底
- スタッフのマスクの着用 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用願いの周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための利用制限

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方は、原則として入室・資料をお断りする。
- ・利用時間の制限(2時間を上限とする。)
- ・「密」を回避するため、セミナールーム 311 の利用者数を制限する(6人を上限とする)。
会議、セミナー・講演、国際交流活動のいずれの場合も同じ。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・1つの机に1名座り、席は対面にならないよう配置を工夫し、隣・前後の間隔を可能な限り2mの距離を取る。

② 飛沫感染対策

- ・利用者はマスクを着用する。
- ・講師等が対面する位置に座る場合、斜めに座るなど、できるだけ2mの距離を取る。
- ・窓は2カ所以上解放、出入り口も空けておく。雨天時や夏場のエアコン使用時などは、1時間ごとに2カ所以上の窓を空け10分程度の換気を徹底する。

(3) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・利用者は、利用時間中は同じ席に座るようにする。また、利用者は身の回りや複数の人が触れる場所は適宜消毒を行う。特に、机、ドアノブ、椅子の背もたれ、肘置き等は注意して消毒を行う。